

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【公開番号】特開2017-125215(P2017-125215A)

【公開日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2017-86318(P2017-86318)

【国際特許分類】

C 08 L 81/02 (2006.01)

C 08 L 77/12 (2006.01)

C 08 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 81/02

C 08 L 77/12

C 08 L 63/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日(2017.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリアリーレンスルフィド樹脂組成物またはその成形体と、ポリアリーレンスルフィド樹脂(A)に対して他の樹脂とを、または、金属とを接着する方法であって、

前記ポリアリーレンスルフィド樹脂組成物が、ポリアリーレンスルフィド樹脂(A)と、ポリアミドエーテル樹脂(B)と、エポキシ樹脂(C)を必須成分とするポリアリーレンスルフィド樹脂組成物であること、

ポリアミドエーテル樹脂(B)の曲げ弾性率が100(MPa)以下であることを特徴とする方法。

【請求項2】

ポリアミドエーテル樹脂(B)が、ポリエーテルブロックとポリアミドブロックとを有するブロック共重合体樹脂である請求項1記載の方法。

【請求項3】

ポリアリーレンスルフィド樹脂(A)100質量部に対して、前記ポリアミドエーテル樹脂(B)が0.5~40質量部の範囲であり、エポキシ樹脂(C)が0.5~40質量部の範囲である請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

エポキシ樹脂(C)が、ビスフェノールA型エポキシ樹脂である請求項1~3のいずれか一項記載の方法。

【請求項5】

前記他の樹脂がエポキシ樹脂である請求項1記載の方法。

【請求項6】

ポリアリーレンスルフィド樹脂(A)の接着性向上する方法であって、ポリアリーレンスルフィド樹脂(A)と、ポリアミドエーテル樹脂(B)と、エポキシ樹脂(C)を必須成分として溶融混練すること、

ポリアミドエーテル樹脂(B)の曲げ弾性率が100(MPa)以下であること、を特

徵とする方法。